

4月21日投票
日立市議選

くらしに痛みを押しつける政治は

選挙で変えよう!
あなたの願い

小林まみ子への一票で

「もう節約するものがない。10%増税は何としてもやめてほしい」と年金生活者。

「これ以上、消費税が上がったら商売やっぺられない」と商店主。長引く消費不況で家計が苦しくなっているときに消費税増税などとんでもありません。

くらしに痛みを押しつける政治に正面から立ち向かい、いのち・くらし最優先の市政へ全力をつくします。

小林まみ子への一票で政治を変えましょう。

消費税10%ストップ

今からでも中止できます

大企業・富裕層に応分の負担を

くらしと営業を壊す消費税増税。日本共産党が躍進すれば、増税はストップできます。これまで2度増税を中止させました。

県内一高い国保料の引き下げ

全国知事会も求める 公費1兆円投入で

全国自治会も求める公費1兆円の投入で均等割などをなくせば年収400万円4人世帯で約15万円の引き下げになり、サラリーマン並みの国保料に引き下げることができます。

原発再稼働ストップ

原発ゼロへ。再生エネルギーに転換を

老朽化した東海第二原発で過酷事故がおこれば、甚大な被害が発生します。「原発再稼働ストップ」の声を県・国に届けます。

ウソ、偽装、強権
ごうまん...

安倍政治に退場の審判を

証紙



日本共産党

日立市議会議員候補

小林まみ子

1964年生まれ(55歳)。勝田一中、県立東海高校、茨城キリスト教短大卒。日立市議4期、新日本婦人の会日立支部委員。家族/夫、一男二女。弁天町在住。

【選挙事務所】弁天町3-4-19 電話・Fax(32)7056

9条改憲 NO!

憲法を生かした平和外交を

自衛隊が憲法に書き込まれれば、戦争する国づくりへの歯止めがなくなります。アメリカいいなりに兵器を爆買する安倍政権。

憲法9条を変えさせていいのでしょうか。

暮らしの声、現場の声を 議会に届け16年

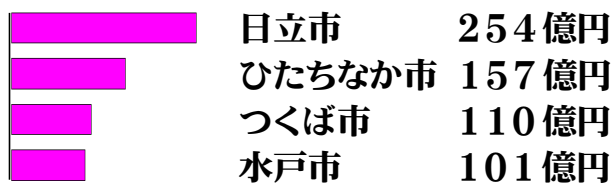


小中学校へのエアコン設置 入学準備金の入学前支給実現

昨年の9月議会。「各地で学校での熱中症発症が絶えません。早急に市内のすべての小中学校にエアコン設置を」と質問。今年の夏までに設置される見通しです。「どの子も笑顔で入学式が迎えられるように」と、入学準備金の引き上げと入学前の支給を要求し実現しました。

県内一のためこみ金 **254億円** 市民のくらし・福祉・子育てに

県内主要都市のためこみ金 (H29決算)



- 国保料・介護保険料の引き下げ
- 18歳までの医療費完全無料化
- 学校給食費の無料化
- 保育園・学童保育の充実
- 高齢者の交通手段確保
- にぎわいのある街づくり



小林まみ子さんに期待します

高橋悦子 (西成沢町)
飯田美弥子 (弁護士・東町)
中村敏夫 (元県議・宮田町)



一人ひとりが 大切にされる市政



一人ひとりが大切にされる市政を...これが小林まみ子議員のモットーです。「高すぎる国保料の軽減を」「安心して働けるよう保育の待機児童解消を」「審議会への女性委員の積極的な登用」「セクハラを受けても声を上げられない現状への対策を」など、市民に寄り添い、女性の目線で発言してきました。

平和な社会が私の原点

夏の「核兵器廃絶・平和行進」には毎年欠かさず参加。「戦争のない平和な社会」の実現が活動の原点です。地元の夏祭りや行事にも積極的に参加し、地域の信頼をあつめています。

日本共産党

小林まみ子を 再び市議会へ

発言回数は、市議会第1位

市民の願いをとどけて実現めざす...これが議員の大切な役割。ところが28名の議員の中で、4年間の議会(年4回で16回)で一般質問0回が7人、10回以上はわずか5人です。

「東海第2原発20年延長ストップ」「安心できる年金制度」などの請願について議会は否決。切実な願いを踏みにじています。

質問回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	15	16
人数	7	1	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3

※日本共産党の小林まみ子議員と大曾根勝正議員は、毎議会欠かさず4年間で16回質問しました。